

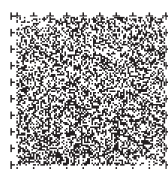


パラスポーツを もっと身近に!

東京ゆかりのパラスポーツ人材と
みなさまをつなぎます!

詳しくは裏表紙へ

パラスポーツ人材地域活動促進事業



— みなさまの“**想い**”を“**カタチ**”に —

東京パラくるって、何ができるの??

みなさまからの相談を受けて、事務局がコーディネートした内容や実際の講演会の様子をご紹介します!!



case 7

未就学児も楽しめるパラスポーツ体験をしたい!

講演 依頼者: 目黒区立みどりがおかこども園
体験会 競技: パラ卓球
講師: 岩渕幸洋選手

「パラ卓球に親しみをもてるようにするとともに、日常の遊びの中でも「卓球遊び」として子どもたちが取り入れていけるような体験をしたい」という依頼者からのお話を受けて、**登録講師の中から選手をご紹介しますと企画の実現に向けたアドバイス**しました。

当日は年少・年中・年長全てのクラスに向けた岩渕選手のお話の後に、3つのクラスの入替え制で卓球体験を行いました。台の上で球を転がしたり、ラケットに見立てたうちわで球をあおいでラリーするなど、園児のレベルに合わせて講師と卓球を楽しみました。



依頼者の声

東京パラくるのホームページから問い合わせ、何度も相談を重ねて、事前準備を行い、今日の開催に至りました。岩渕選手が「楽しんで」という姿勢で関わってくださり、子どもたちも夢中で楽しむことができたと思います。うまくできなくても憧れを持ったり、何度も挑戦しようとしていた姿が印象的でした。**今回の体験が子どもたちの原体験**になったと思います。今後もいろいろなスポーツに触れていきたいです。



事例はこちら▶

パラアスリートをもっと身近に感じてもらいたい!

これまで経験したことをもとに、児童、生徒にお話しています。

また、先生や親御さんなど支える立場の方々に向けてのお話や、バリアフリーに関するテーマについても、機会があるとうれしいです。

パラスポーツやパラアスリートに興味を持っていただけましたら、ぜひお気軽に東京パラくる事務局へご連絡ください。私たちも皆さんにお会いできるのを楽しみにしています!

に じょう み ほ
二條実穂さん(元 車いすテニス選手)



誰もが活躍できる社会を実現するために!

パラアスリートは様々なエピソードを持っていますので、ぜひ興味を持っていただけたらと思います。これからパラスポーツを始める方はもちろん、「本格的にパラスポーツに関わっていきたい!」という方に対しても、私自身の経験を踏まえたお話ができると思います。

私の講演を通して、今後一緒にスポーツに取り組んでももらえる方が増えると嬉しいです!

あり やす りょう へい
有安諒平さん(ボート/クロスカントリースキー選手)



スポーツを通してさらなる共生社会の実現へ

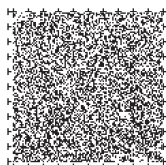
2025年、東京で100周年記念となる夏季デフリンピックが開催され、国内でのデフスポーツやデフアスリート、そして聴覚障害への認知が上がったと思います。

この大きな流れを一過性にするのではなく、継続した取り組みが大事だと思います。

私自身がデフサッカーやデフフットサルを通じてきこえない選手と関わってきた経験を踏まえたお話の中から、少しでも聴覚障害を知っていただき、社会の共生を考える方がさらに増えると嬉しいです!

また10年かけて世界一という結果をつかみ取るまでに大事にしたマインドのお話などもできると思います!

やま もと よし き
山本典城さん(デフサッカー・フットサル女子監督)



生徒の新たな一面を発見する機会に！

体験会 依頼者：東京都立城東特別支援学校
競 技：知的障がい者サッカー
講 師：東京都知的障がい者サッカー連盟

特別支援学校(知的校)の先生より「体育の授業(サッカー)のゲストとして知的障がい者サッカーの選手を招き、生徒との交流をメインとした授業を企画したい」との依頼がきっかけで、本事例がマッチングしました。実施にあたり、**過去に実施した活用事例や、講演テーマの紹介**を行いました。

当日はコーチと2名の障がいのある選手が来校。選手は都内の特別支援学校の卒業生として、気さくに生徒とコミュニケーションを取っていました。サッカー体験では動きのペースに合わせて2つのグループを分けたり、紙を丸めて作ったボールを使ったりするなど工夫がされ、生徒たちは選手と笑顔で楽しみながら活動していました。



依頼者の声

生徒たちはサッカー教室が終わって自分たちの教室に戻った後とても喜んでいて、「楽しかった」と言っていました。実際に日本代表になっている都内の特別支援学校の卒業生が来てくれて、普段は見られない生徒たちの潜在能力のようなところも新たに発見できました。

これまで試合はやったことがなかったのですが、実は**あれだけ生徒たちがボールを追えるとか、様々なところで気づきがあった**ので、学校として実施していただけて良かったと感じました。



事例はこちら▶

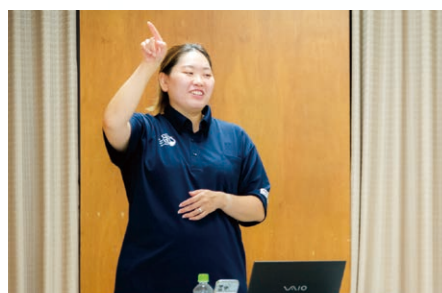
区内のスポーツ指導者向けのセミナーで、デフスポーツの知識を深めたい

講演 依頼者：中央区区民部スポーツ課
競 技：デフ水泳
講 師：藤川彩夏さん

区として例年開催している『スポーツ指導者養成セミナー フォロー研修』の講師に、東京2025デフリンピック開催に向けて、デフスポーツ関係者を招いてデフリンピックやデフスポーツに関する研修を行いたい」という依頼者の希望に対して、**希望に合った講師のご紹介や内容の提案**を行いました。

東京2025デフリンピックへの帯同が内定していた藤川さんを講師に招き、聴覚障害を持つ藤川さんの生い立ちや競技歴、デフリンピックやデフスポーツについてお話いただきました。さらに、依頼者よりご要望があった「スポーツや日常生活の場面におけるコミュニケーション方法」についても触れ、「伝えることを諦めず、互いの個性や課題に寄り添うことの大切さ」をお話いただきました。

同年に開催された東京2025デフリンピックのムーブメントにも繋がる研修となりました。

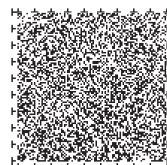


依頼者の声

デフリンピックの機運醸成やスポーツ指導者の資質向上を目的にスポーツ指導者養成セミナーフォロー研修の講師として藤川さんにご依頼させていただきました。参加者からも**「デフリンピックについて知れてよかった」、「自分の知らない世界のことを知れて良かった」**など肯定的な意見・感想が多く見られました。参加者にとって非常に有意義な講義になったと思います。



事例はこちら▶





パラスポーツをもっと身近に。

～東京ゆかりのパラスポーツ人材とみなさまをつなぎます！～

東京パラくるとは？

東京パラくるは、みなさまが実施する講演会やスポーツ教室・体験会等の講師や指導者探しのお手伝いをします。



パラアスリートが来る



パラスポーツに人が集まってくる



パラスポーツが生み出す好循環(サイクル)

●対象となる団体

東京都内の区市町村、地域スポーツクラブ、学校、社会福祉施設、その他パラスポーツに関心のある企業など。

団体の規模は問いません。
どなたでもお気軽に
ご相談ください！

●対象となる事業

講演会、スポーツ教室・体験会など。
「うちのチームに教えに来て欲しい！」
といったご希望も、お気軽にご相談ください。



**東京にゆかりのあるパラアスリート、
障害者スポーツ競技団体等が多数登録！**

事業実施までの流れ

▶講演等の希望内容送信

当ホームページの「講演等の希望内容送信」より、希望講師・競技・日程等、必須項目を入力して送信してください。

▶講師など詳細が決まっていない場合

具体的なお要望が確定していなくても、お気軽に「お問い合わせ」よりご相談ください。

- ①ご依頼者様と事務局で打合せをさせていただき、事務局が講師に打診し、講師側の実施イメージを確認します。
- ②事務局よりご依頼者様に講師の意向をご連絡します。
万が一ご希望に添えなかった場合、代替案をご提案させていただきます。
- ③ご依頼者様より講師への講演依頼手続き、謝金等のお支払いを行っていただきます。

※選手によっては、競技団体や選手のマネジメント担当者等と直接調整が必要な場合もあります。

※聴覚障害のある講師を希望する場合は、依頼者様において「手話通訳者の手配及び派遣費用」が別途発生する場合もあります。

▶開催当日

ご依頼者様と講師により事業を実施してください。
事務局も同行しサポートさせていただく場合もございます。

※終了後、アンケート等のご提出にご協力ください。(書式は事務局が用意しております。)

